

コーナン商事が建デポを連結子会社化—直ちに格付に影響せず、今後のシナジー効果に注目

以下は、コーナン商事株式会社（証券コード：7516）が株式会社建デポを連結子会社化することについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は4月23日に、建デポの連結子会社化を公表した。19年6月3日に投資ファンドであるユニゾン・キャピタル及びLIXILから同社の発行済株式及び新株予約権を取得する予定である。
- (2) 建デポは首都圏を中心に、プロ顧客向けの会員制建築資材卸売店舗「建デポ」を展開している。18/3期の売上高は337億円、営業利益は10億円の赤字、総資産160億円、純資産43億円であり、19/3期は経常利益で黒字を見込んでいる。店舗数は66店舗（首都圏41店舗、首都圏以外25店舗）にのぼる。当社は首都圏に51店舗（ピーバートザン含む、19年4月23日現在）を出店している。本件は当社の出店戦略において重要な地域である首都圏での事業基盤強化を図るものである。
- (3) 当社のキャッシュフロー創出力などからみて、本件による損益、財務への影響は限定的とみられ、JCRでは直ちに格付に影響するものではないと判断した。今後、商品企画力や販売力、物流及びシステム等の経営ノウハウの融合を進めていく方針である。これら施策の推進状況や首都圏の収益力強化などシナジー効果の発現状況をフォローしていく。

（担当）大塚 浩芳・金井 舞

【参考】

発行体：コーナン商事株式会社

長期発行体格付：BBB+ 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル